メタセコイア （土屋中学校の樹）

＜学校教育目標＞

～ 夢に向かって ～

第８号

令和 ８年 １１月 ２日発行

さいたま市立土屋中学校
さいたま市西区土屋１７６６－１
℡０４８－６２２－４６１１
✉ tsuchiya-j@saitama-city.ed.jp

『 心を潤す４つの言葉 』

校 長 小 熊 誠

10 月は、「土屋秋の陣」真っ盛りでした。県大会があり、市駅伝があり、合唱コンクールがあり、吹奏楽部の全国大会があり、新メンバーでの「心染色“こんぱす”」も動き出しました。そして土屋の「米創り」の一環として、自分たちで作ったお米を、自分たちで考えたメニューで食べる給食も始まりました。まさに実りの秋、素晴らしい土屋の収穫満載です。

10 月 20 日、第 26 回市駅伝。７月１日から練習を始めた 45 名の、土屋の本年度最強メンバーが魂の走りを魅せてくれました。男子 63 チーム中 22 位、女子 62 チーム中 13 位(土屋最高順位)という素晴らしい結果に満足しない３年生 14 人の強い思いが、後輩に来年度の県大会出場に向けての大きな一歩を踏み出す決意を与えてくれました。土屋の襷に思いが繋がりました。

10 月 24 日、校歌の作曲者である 秋山さやか先生 をお迎えしての合唱コンクール。土屋全 14 クラス、14 通りの魂の込められた、今この瞬間にしか奏でられない、世界でたった一つの、クラス独自の「合唱」が市文化センターに、聴いている私たちの心に響き渡りました。３年３組が、土屋の代表として、11 月５日、市小・中合同音楽会で、「親知らず子知らず」を披露してきます。土屋の圧倒的な「合唱」が聴いている観衆全てを魅了してくれるはずです。また一つ、土屋の歴史に新たなページが刻まれます。

10 月 31 日、吹奏楽部が５年連続で全国大会に進み、４年連続の金賞に挑みます。吹奏楽部によって命を吹き込まれた、自由曲「蝶々夫人」が、まるで生きているかのように成長を続け、進化を始めました。28 日のお披露目にコンサートで、教育長を始め御来賓の皆様、保護者・地域の皆様、地域の小学生、土屋の在校生や先輩、教職員の思いを注ぎこまれた「蝶々夫人」は、31 日、演奏時間 18 時 15 分、会場である静岡県浜松市アクトシティ浜松で「メガ進化」を遂げるはずです。どうぞ皆様御期待ください。

さて、そんな行事満載の 10 月を過ぎ、今日から始まる 11 月は、埼玉県の「いじめ撲滅強調月間」であり、さいたま市の「心を潤す４つの言葉」推進週間 でもあります。すなわち統計的にいじめに係わる事案の多い月となります。そこで、さいたま市では、温かい人間関係と、スムーズなコミュニケーションを目指して、改めて 11 月に「心を潤す４つの言葉」をクローズアップしています。「はい」「おはようございます」「ありがとう」「ごめんなさい」この４つの言葉は、本当に簡単で単純な言葉です。しかし、この言葉を実際に、口にだして伝えることによって、周りの雰囲気が明るくなり、元気がみなぎり、笑顔が溢れてきます。そして、場合によっては、崩れ始めている信頼を引き戻し、感謝の気持ちを復活させてくれる、「魔法の言葉」です。皆様、どうぞ、学校で、家庭で、地域で、皆で、この「心を潤す４つの言葉」を積極的に発信し、気持ちのいい、居心地のいい環境を創っていきましょう。それが、生徒たちが、もっと土屋を、もっと家庭を、もっと地域を大好きになる一番の近道だと信じています。どうぞよろしくお願いいたします。



希望の登校 笑顔の活動 満足の下校